

充実した大学生活を過ごす。



# 東北大學全學教育ガイド

2013年

全学教育は、専門教育や大学院教育への展開のために不可欠な、  
学部専門教育ではできない基盤的な教育であり、  
広い意味での教養教育です。

なお、本学では全学の教員がこれを担うこととし、  
全学体制で行っています。

東北大學

TOHOKU UNIV.

# 全学教育の位置づけ～それは教養を身につける教育～

理事(教育・学生支援・教育国際交流担当) 学務審議会 委員長 花輪公雄

皆さん、東北大学への入学、おめでとう。本学で思う存分学び、大いに人間的にも成長してください。

皆さんは将来、大学で得た知識や知恵、そして様々な力を生かして社会へ貢献することが期待されています。この期待に応えるためには、“社会へ貢献する力”を養う必要があります。抽象的ですが、それはたとえば、他人や他国を理解する力や、複数の人たちと協力・協調して仕事を進める力などのことです。また、専門分野に加え、幅広い学問分野の基礎的知識を身につけること、さらには芸術を愛することなども加わります。言い換れば、現代社会に生きる私たちが持つておくべき素養、すなわち“教養”を身につけることです。

本学では、この教養教育を等しく全学部生を対象とする教育との意味で“全学教育”と呼んでいます。このリーフレットは、全学教育の構成やその意義、現在本学が重点的に取り組んでいる幾つかのことを簡潔に紹介したものです。皆さんのが全学教育科目を選択し組み立てるときの参考にしてください。



花輪公雄

## 東北大学の基盤教育としての全学教育

「基幹科目」、「展開科目」、「共通科目」の3科目類からなる教育課程を設定し、科目群毎に構成された授業を実施して、以下の目標を達成します。

### 【基幹科目類】

専門分野の如何を問わず、倫理、芸術、言語表現、ジェンダー、経済、社会、政治、歴史、生命、環境などの分野における現代的なテーマに関する基本的な知識と技能を学び、人間・社会・自然の諸事象に関する幅広い知見と柔軟で多角的な視野を身につけ、豊かな教養と人間性に裏付けられた知的な探求を行う基盤となる知識と技能を養うことを目標としています。

### 【展開科目類】

基幹科目において習得した基盤となる知識と技能をもとに、人文科学・社会科学・自然科学等の諸科学に関する基礎的知識と、学際的な解決を要する現代的諸課題に対応するための視点と知識を身につけるとともに、授業を通して研究者の学問的営為を知り、学問への意欲を高め、専門教育・大学院教育へと展開する学問的・人間的基盤を養うことを目標としています。

### 【共通科目類】

社会的倫理性に基づく主体的判断力・行動力とコミュニケーション能力、国際人としてのコミュニケーション能力と他文化理解力、情報に関わる基本的知識と技能、心身の健康維持・増進のための知識と技能など、現代人として生きるために必要不可欠な能力及び基本的素養と技能を養い、能力や技能の自己開発のための起点を形成することを目標としています。



## 主体性を育む基礎ゼミ



「基礎ゼミ」は、転換・少人数科目として1年次前期に開講しています。これまでの受動的な学習から、自立的な学習という「学びの転換」を目的とした20人以下の少人数クラスの授業です。教員からの知識の

伝達という一方通行の授業ではなく、実験、実習、フィールドワークなどの様々な授業形態があり、受講生は、教員やいろいろな学部の学生と真剣に学び、楽しいコミュニケーションを図りながら、主体性をもって参加しています。毎年約150以上の授業テーマが提供され、入学した学部にこだわらずに、好きなテーマを選んで受講することができます。全ての授業終了後には、「基礎ゼミ」で学んだ成果を発表する「基礎ゼミ成果発表会」が公開発表会として開催され、優秀な発表には投票により賞が授与されます。平成25年度からは、さらに発展的なアクティブラーニングを中心とした「展開ゼミ」を1年次後期に開講します。

## 自然科学総合実験

「自然科学総合実験」は、従来の物理学実験・化学実験・生物実験・地学実験の枠を取り除き、実験科目を融合した内容を持つという特徴を持っています。専門教育に向けた実験技術の習得を直接の目的とせず、自然に親しむことに重点をおき、自然科学の基礎である実験によって感動を体験することで、学生が自ら学問に取り組む姿勢を確立することを目的としています。この実験科目は、理系学生のほぼ全員に必修となっており、年間約1700名が受講しています。実験は全部で12の課題からなりますが、それらは従来的な理学分野にはとらわれず、自然科学全体を網羅するテーマとして企画されています。



# 実践的英語カリキュラム

全学教育科目の英語教育の一環として、1年次後期に全学部学生を対象に大学を会場としてTOEFL-ITP英語テストを実施しています。もちろん、受験費用は大学が全額負担します。TOEFL (Test of English as a Foreign Language)は米国のNPO法人である Educational Testing Service(ETS)が主催している英語のテストです。このテストはグローバルスタンダードの英語テストとして世界各国の教育機関等で入学希望者の英語力判定などに利用されています。そのため、自分の英語の実力を客観的に判断できるだけではなく、世界に通用する英語力の向上に役立てることができます。平成25年度からは、さらに実践的な英語授業「Practical English Skills」を2年次に開講します。



## 充実した初修外国語教育

本学では英語の他にも「初修外国語」、いわゆる第2外国語を学ぶ必要があります。初修外国語には独・仏・露・西・中国・朝鮮語の6つがあり、いずれかを選択し1年生で基礎、2年生で応用を学ぶことができます。

また、実際の授業では黒板に先生が板書するばかりでなく、外国の小説や新聞・マンガをテーマに議論したり、グループで劇の発表をしたりするなど、多くはまず学生に興味をもってもらえることを重視しています。もし分からなきがあれば、授業によってはネイティブの上級学生が授業補助者として参加しており、年齢も近いので気軽に質問してください。

言語活動を通じてその言語をもつ文化圏の興味・理解を深める

幅広い選択肢

- ・ドイツ語
- ・フランス語
- ・ロシア語
- ・スペイン語
- ・中国語
- ・朝鮮語

例) 基礎ドイツ語  
1年生  
基本を学ぶ

例) 展開ドイツ語  
2年生  
応用を学ぶ

## プラクティカル・イングリッシュコース

プラクティカル・イングリッシュコースは、「実践的英語能力をさらに高める」ことを目的として土日に開講される課外授業です。グローバルに活躍できる人材を目指すためには、授業において英語で発表を行い質疑応答に対応できる、英語でレポートや論文を書き、自分の意見を言える等、実践的に英語を活用していくチカラが求められます。このコースでは、経験豊富なネイティブスピーカーを講師として、ディスカッションやプレゼンテーションなどの「アウトプット中心の授業」を行うことで、実践の場で必要とされる英語スキルの効率的な修得を目指します。



## グローバル・リーダー育成プログラム



本学は、グローバルな舞台で積極的に挑戦し活躍できる人材の育成を先導する大学として、文部科学省のグローバル人材育成推進事業に採択されました。

このことを受け、学生がグローバル人材として持つべき具体的能力を総合的に修得できるよう、「東北大学グローバル・リーダー育成プログラム」を策定しました。「語学・コミュニケーション力養成」「国際教養力養成」「行動力養成」そして「海外研鑽」のサブプログラムから構成されるプログラムを修了した者には修了証、特に優秀な成績を修めた者には「東北大学グローバル・リーダー認定証」を授与します。皆様のプログラムの積極的な受講を期待します。

## 充実した内容・環境の情報教育

マルチメディア教育研究棟には情報教育用のICL演習室(1階)と語学教育用のCALL教室(2階と3階)があります。そこにはインターネットに接続された800台以上のPCが配置され、授業で占用されていないときは自習用に開放されます。特に1階の演習室は、授業期間中の平日は20:45まで利用できます。全学教育科目「情報基礎」は、文系・理系などの区分ではなく学部横断的に標準化された教育内容で実施されています。具体的には、情報技術を活用した知的生産と、コンピュータ・サイエンスの手法による問題解決の各技能の基礎を涵養する「アカデミック・スキル」と、情報社会の一員としての責任を自覚するための「ソーシャル・スキル」を2本の柱としています。



## 復興大学【復興人材育成教育コース】

「求ム、復興リーダー」をスローガンに、復興の思想から政治、経済、社会、生活構築および科学技術までの幅広い教育内容で、現場でのフィールドワーク、学生同士の議論等も取り入れ、社会の諸課題に主体的に取り組む姿勢をも涵養することを目標に「復興人材育成教育コース」6科目(コレントトピックス科目)を開講。他大学の学生も交え、地域の復興に関わりつつ学ぶことにより、コース修了かつ大学卒業後に、地域の復興支援、さらにはグローバル化時代における日本社会全体の新生を担うリーダーとして活躍できる人材を育成することを目指しています。授業は、アエルフ階(仙台駅隣)の教室で週末(土日)等に開講しています。



## SLA Student Learning Adviser

東北大における学生による学生のための学習支援スタッフのことを指します。主に学部3年生～大学院生の学生がSLAとして、全学教育を受ける学部1・2年生の学習サポートを行っています。このSLAを核としたSLA事業では、(1)個別対応型学習支援、(2)授業連携型学習支援、(3)SLA発信型学習支援、(4)自主ゼミ支援を行っています。自主ゼミや学習企画については、ポスターやWebで紹介しています。コンセプトは学生同士の“学び合い”。「ともと学ぼう、ともに育とう、『ともそだち』」をキーフレーズに、マルチメディア教育研究棟1階の川内ラーニングプラザにて日々活動中です。飲食可能なスペースなので、気軽に利用してみてください。



## 快適なキャンパス環境

東北大川内北キャンパスの講義棟A・B・C棟は平成21年度に大規模な改修工事を行い、近代的な講義棟に生まれ変わりました。例えば、各教室の入り口は、採光を考えて、ガラスの引き戸とし、デザインを一新しました。課外活動団体が利用できるよう展示スペースも設けました。この展示スペースは、申し出ることにより写真や書道などを展示することができ、課外活動の一部を垣間見ることができます。

また、休憩スペースとして談話室を改修しました。生協のある厚生会館もテラスを整備したり、充実した学生生活を過ごすことができます。



東北大学  
教育・学生支援部 教務課